

利用しやすい 施設予約を

答 計画的に利用して頂きたい



西銘 多紀子 議員

問 施設予約で、急な日時の変更ですぐに連絡をしたい、予約を押さえないと思っても本町は土日閉庁であり、また開庁時間も制限がある。その中で印鑑を持っていく役員や係と連絡を取ったり開庁時間に行ける方を確認したりと、現在の施設予約方法は不便である。1週間前とする具体的な理由は何か。

教育総務課長 学校と学校開放管理指導員とのやり取りではないとか、安全を確認できていないという場合を防ぐために行っている作業である。学校と管理人との調整を行っているため1週間必要ということである。規則にもうたわれている。

問 利用するための環境づくりも必要だと思いが、ルールである1週間前が足かせになり、施設は開いているけれども利用できないという一般の方々の声もある。その声に対してどう説明するか。

教育総務課長 一般開放とスポーツ少年団などには計画的に活動をしていけるように私たちは優先的に配慮を行っている。計画的に利用して頂きたい。

問 県内様々な施設へ導入している「SPMクラウドシステム」があり施設予約がインターネットで24時間管理できる。窓口の負担も減らして、なおかつお互いに負担がないシステム活用であれば導入するべきである。ぜひ検討してほしいが、今までこのシステムの導入を検討したことはあるか。

教育総務課長 このシステムに関しての検討は行っていない。

スクールサインの導入に問題はないか

問 いじめなどで苦しんでいる子を一人でも多く救いたいという本システムはよいと思うが不安要素が大きい。この

導入で考えられるメリット・デメリットを伺う。

学校教育課長 本システムのメリットは、いじめの情報やいじめにつながる情報をいつでもどこでも匿名で投稿できること、相談しやすい環境ができること。デメリットについては、現状まだ上がってきていない。



問 沖縄県内自治体で導入事例はあるか。

学校教育課長 県内での導入事例はなく、本町も試行期間である。